



すべては
みんなの
笑顔のために

ひびき

vol. 3



《東信教育事務所

〒384-0006

小諸市与良町6-5-5

Tel. 0267-31-0251 (学校教育関係)

0267-31-0252 (生涯学習関係)

Fax. 0267-31-0140

バックナンバーはこちらから



「兆し」

令和8年 9/2
(2026年)

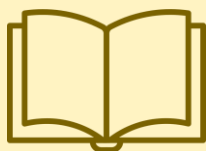
小学校2年生の生活科の授業。2校合同で行う乗り物遠足の準備を、ICT機器を活用し、2つの学校を繋いで進めました。「どんなことを考えておくかと安心して遠足に行けるかな?」という問いかけに、それぞれの学校から「もちもの」「じかん」「やくそく」と、画面越しに次々と意見が出されました。画面から聞こえる友達の声に、「あー、なるほど」「いいねー」と応える子どもたち。そのつぶやきの中に、研究テーマ「やってみようとしていいねが響き合う学校づくり」の達成に向けた確かな「兆し」が表れていました。



あさまろ



ちくまひめ



授業から学ぶ
「何を学ぶのか」
分かるように伝える
～自立活動の6区分を

子どもの言葉に変換～



研修の窓
子どもたちの問いや
願いを大切にした授業
～第1、2回

授業・学級づくり研修会より～



考える部屋
安全・安心な
学校づくりのために
～夏休み明けに大切にしたい“心配り”～

お知らせ

高校進学説明会・相談会

授業から学ぶ

(中学校・自立活動)
「ジャガイモの
植え付け」

「何を学ぶのか」分かるように伝える

～自立活動の6区分を子どもの言葉に変換～

活動が充実していても、子どもが「何を学ぶのか」を理解していなければ、その学びは深まりにくくなるのではないのでしょうか。A中学校のB先生は、自立活動の6区分を子どもの言葉に変換し、学習の目的を共有していました。その工夫を紹介します。



写真1：授業の導入

ジャガイモの植え付けを行う前に、今日の学習内容を確認している場面です。「畝を立てる」「先生の手本を参考にする」「友達と協力する」などの活動内容だけでなく、この活動を通して「何を学ぶのか」についても確認していました。活動の見通しと学習のねらいを共有することで、子どもたちが目的意識をもって学習に参加できるようにしていました。

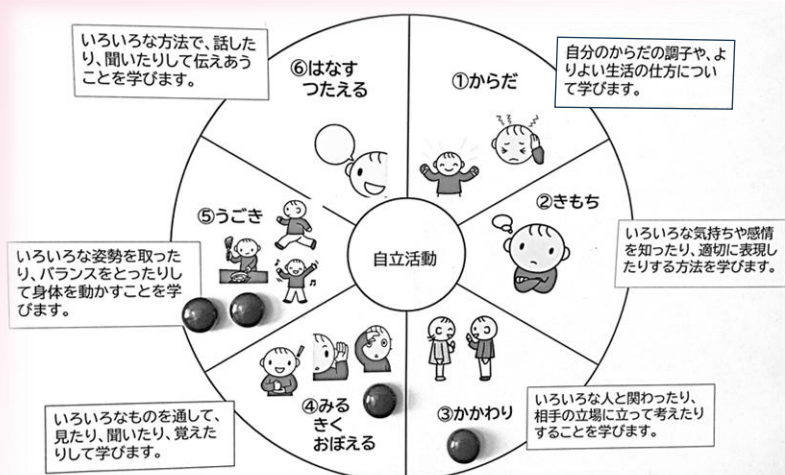


写真2：導入時に示したホワイトボード

ホワイトボードには、自立活動の6区分が、子どもたちに分かりやすい言葉で示されていました。B先生は専門的な用語をそのまま使うのではなく、子どもの言葉に変換していました。また、マグネットを置くことで「今日はどんなことを意識して取り組むのか」が視覚的に分かる工夫となっていました。

自立活動の6区分	子どもの言葉
①健康の保持	①からだ
②心理的な安定	②きもち
③人間関係の形成	③かかわり
④環境の把握	④みる・きく・おぼえる
⑤身体の動き	⑤うごき
⑥コミュニケーション	⑥はなす・つたえる

B先生は、6区分をそれぞれ、左の図のように変換していました。例えば「環境の把握」を「みる・きく・おぼえる」と示すことで、子どもたちは、先生の動きをよく見る、話している内容を聞き漏らさないようにする、植え付けの注意点を忘れない等、授業で意識することを具体的にイメージできました。

ジャガイモの植え付けという活動は、収穫を目指す活動であると同時に、「協力する」「手本を見ながら行う」「身体を動かす」「気持ちを整える」といった学びの機会でもあります。教師だけが目的を理解しているのではなく、子ども自身が「こんな力がつくのだ」と分かって取り組むことが重要です。活動を単なる体験として終わらせるのではなく、学びとして意味付けるための一つの手立てとして、意識するポイントを子どもの言葉に変換し、「何を学ぶのか」という目的を共有する実践は、子どもたちの成長の兆しを捉える上でも大いに参考になるのではないのでしょうか。





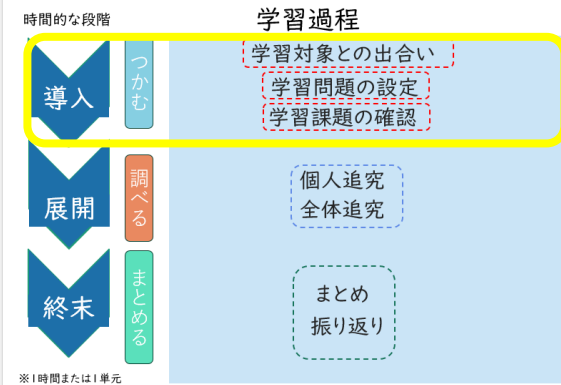
子どもたちの問いや願いを大切にした授業 ～第1、2回授業・学級づくり研修会より～

「授業の中で問いや願いをどうやって位置づければいいのか？」
「子どもたちが問いや願いをもって楽しく授業に参加してほしい。」
「子どもたちの『なぜ、どうして』から問いを生み出していくには、
どうすればよいのだろうか？」

(第1、2回授業・学級づくり研修会 参加者の声より)

上記のように参加された多くの先生方の言葉の中に、「子どもの問いや願い...」という共通項が見られました。研修会の基礎講座の資料と共に、子どもたちの問いや願いを大切に授業づくりについて「問いや願いを生む」をキーワードに考えてみましょう。

授業の構造



「つかむ」 学習対象との出会い

学習対象と出会う＝問題に気付く

物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程

(小学校学習指導要領解説 総則編P37より)

「問題を見だし」というキーワードは、
各教科の学習指導要領にもたくさん出てくる

つまり、現代において求められている資質・能力

「問いのある授業」から「問いを生む授業」への更新



学習対象と出会うとは、問題に気付くということです。教師がいきなり「今日は〇〇の問題についてやります」というのではなく、子ども自身が「なぜ？どうして？」と自分たちで物事の中から問題を見出すことが大切になります。

子どもが「問題を見出すこと」を具体的に次のような場面から考えてみました。



「なぜ？」
「どうなっているの？」

○とらえ方の異なる資料の比較や
矛盾が生まれる事象との出会い
→社会、理科、技術・家庭科、生活・総合など



なぜ江戸幕府は260年以上も続いたの

「こうなりたい！」
「できるようにしたい！」

○憧れをもつような対象との出会い
→体育、音楽、美術、英語、生活・総合
など



もっと大きなシャボン玉を作りたいな

「なんとかしたい！」
「やりたい！」

○解決したい問題との出会い
→国語、算数、音楽、特別活動、生活・総合
など



小数÷小数ってどうやって計算するの
だろうか



夏休み明け、子どもたちがどんな「問いや願い」を生み出していか楽しみですね。

授業・学級づくり研修会は、先生方に寄り添いながら一緒に考える研修会です。困ったときは、一人で悩まず一緒に考えましょう。先生方のご参加をお待ちしています！

【授業・学級づくり研修会に参加した先生方の感想より】

- ・学習対象との出会いを通して、子どもが問いを生み出し、授業の最後には学んだ過程と学んだことを自覚できるような授業を子どもたちとつくりたいです。
- ・見て、体感して、子どもたちと一緒に楽しんで一緒に問いを生み出していき、もっと自分も子どもたちもわくわくすることをしてきたいと思いました。



第3回は、9月28日(上小) 9月29日(佐久)で開催いたします。

申し込みは右の二次元コードからお願いします。申し込み締め切り9月8日(火)





安全・安心な学校づくりのために ～夏休み明けに大切にしたい“心配り”～

夏休み明け子どもたちが安心して過ごせる学校づくりのために、
改めていじめへの理解と対応について考えてみましょう。

〰いじめ発見は日頃の見取りと相談しやすい環境づくりから

区 分	令和6年度			令和5年度		
	計	構成比		計	構成比	
		県	全国		県	全国
学校の職員等が発見	5,158	53.5	60.9	5,554	55.2	62.5
内訳						
学級担任が発見	1,506	15.6	9.3	1,684	16.7	9.2
学級担任以外の職員が発見	256	2.7	3.1	243	2.4	2.6
養護教諭が発見	31	0.3	0.3	43	0.4	0.3
スクールカウンセラー等の相談員が発見	17	0.2	0.2	19	0.2	0.2
アンケート調査などの学校の取組により発見	3,348	34.8	48.0	3,565	35.4	50.3
学校の職員以外からの情報による発見	4,475	46.5	39.1	4,513	44.8	37.5
内訳						
本人からの訴え	2,558	26.6	19.6	2,616	26.0	19.4
本人の保護者からの訴え	1,272	13.2	13.9	1,222	12.1	12.8
他の児童からの情報	451	4.7	3.9	472	4.7	3.7
他の保護者からの情報	166	1.7	1.4	179	1.8	1.3
地域の住民からの情報	4	0.0	0.1	6	0.1	0.1
学校以外の関係機関からの情報	19	0.2	0.2	14	0.1	0.2
その他（匿名による投書など）	5	0.1	0.1	4	0.0	0.1
計	9,633	100.0	100.0	10,067	100.0	100.0

〇長野県における令和6年度のいじめ発見のきっかけを全国と比較すると、「学級担任が発見」が15.6%（全国9.3%）、「本人からの訴え」が26.6%（全国19.6%）、「他の児童からの情報」が4.7%（全国3.9%）の3項目で全国平均を上回っています。特に学級担任による発見の割合が全国比において高く、教職員の日常的な観察や見取りが機能していることがうかがえます。また、本人や周囲の児童生徒からの情報提供も多く、相談しやすい環境づくりが進んでいると考えられます。

（注）構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す
文部科学省 令和6年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

⚠いじめの対応が遅れてしまうケース

「いじめかどうか」の判断に時間をかけることで、対応が遅れてしまうことがあります

① 仲良しグループの関係性があるから…
⇒関係性ではなく、本人の苦痛に着目

② お互いにやりあっているから…
⇒双方にやりとりがあっても、苦痛を感じていればいじめの可能性はある

③ 被害側にも問題があるから…
⇒被害側の課題と、いじめの有無は別問題

④ 特性があるから…
⇒特性の有無にかかわらず、苦痛があるかどうかに着目

⑤ 「この程度がいじめなら全部いじめになる…」
— 法的な定義を受け入れられない —
⇒いじめの定義は法律で定められており、受け入れないことが認知や対応の遅れにつながる

ポイント

「いじめかどうか」を判断する前に、
『児童生徒が心身の苦痛を感じているという疑い』
があるならば、まず事実確認と支援を開始しましょう！

記録は「結論
を書く！」こと
が重要です

☑“初期対応で大切なこと” ☑記録を残す！

なぜ、記録が必要か？

- ☑客観的な事実を、その時点で記録することが大切だからです
- ☑記録は学校と生徒を守る大切な資料になるからです
- ☑継続的な支援や対応につながるからです

時系列で記録

記録する内容（5つのポイント）

- 🕒 いつ：年・月・日・時刻
- 👤 誰が：記録者の氏名・立場
- 🔍 何を聞いたか/何を見たか：発言者や内容、行動等を具体的に
- 📝 どのように判断したか：事実と考えを区別して記載
- 👉 結論（判断）：いじめの疑いがある/ないなど

いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり得ます。生徒指導提要（R4改訂）でも、いじめを生まない学校づくりと未然防止を重視しながら、早期発見・組織的対応を行うべきとしています。異変に気付いたら早めに対応し、記録を残し、気軽に悩みや不安を話せる環境をつくるのが大切です。学校という場が、子どもたちにとって安全・安心だと感じられる場になることを願い、2学期も大切な子どもたちの命を見守っていきましょう。



高校進学説明・相談会



東信教育事務所では、いじめ・不登校地域支援事業の一環として、進路についての悩みや不安を抱えている不登校傾向にある生徒及び保護者を対象に、進路に関する相談会を開催し、進路選択の不安軽減に向けた支援を行っております。

今回は、高等学校の教頭先生や進路担当の先生がご相談に応じます。

上田創造館

11月2日(月)

17:00~19:30

佐久市民創錬センター

11月5日(木)

17:00~19:30

- <実施内容>
- 1 進路選択・高校進学に向けての個別相談
 - 2 学校概要や高校生活に関する高校ごとの個別説明・相談
 - 3 学力検査など進路に関する高校ごとの個別説明・相談

- 事前申し込みの必要はありませんが、待ち時間が長くなる学校もありますので、時間に余裕をもってご来場下さい。
- 不登校傾向の中学生及び既卒生のための相談会です。保護者の皆さんも参加できます。(会場の広さの関係で、保護者の方の参加は1名のみでお願いします。)

○参加予定校一覧(上田・佐久両会場)

- ・長野西高等学校(公立:全日制・通信制)
 - ・坂城高等学校(公立:全日制)
 - ・上田高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・上田東高等学校(公立:全日制)
 - ・丸子修学館高等学校(公立:全日制)
 - ・東御清翔高等学校(公立:多部制・単位制)
 - ・蓼科高等学校(公立:全日制)
 - ・長野西高等学校 望月サテライト校(公立:通信制)
 - ・小諸義塾高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・軽井沢高等学校(公立:全日制)
 - ・佐久平総合技術高等学校(公立:全日制)
 - ・野沢南高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・長野俊英高等学校(私立:全日制)
 - ・上田西高等学校(私立:全日制)
 - ・佐久長聖高等学校(私立:全日制)
 - ・さくら国際高等学校(私立:通信制)
 - ・コードアカデミー高等学校(私立:通信制)
 - ・松本国際高等学校(私立:全日制・通信制)
 - ・地球環境高等学校(私立:通信制)
 - ・寺子屋高等学院(私立:通信制)
 - ・つくば開成学園高等学校(私立:通信制)
 - ・ID学園高等学校(私立:通信制)
 - ・信州クラーク高等学院(私立:通信制)
 - ・KATEKYO高等学院(私立:通信制)
 - ・プリマ国際高等学院(私立:通信制)
 - ・青山高等学校 桜丘中学・高等学校(私立:全日制・全寮制)
- 【不登校全般に関する相談】
- ・東信子ども若者サポートネット

○上田会場のみ

- ・上田千曲高等学校(公立:全日制・定時制)
 - ・上田染谷丘高等学校(公立:全日制)
 - ・第一学院高等学校(私立:通信制)
- 【不登校全般に関する相談】
- ・上小圏域障害者総合支援センター

○佐久会場のみ

- ・岩村田高等学校(公立:全日制)
 - ・野沢北高等学校(公立:全日制)
 - ・小海高等学校(公立:全日制)
- 【不登校全般に関する相談】
- ・ウィズハートさく

【問い合わせ先】

☎ 0267-31-0252
東信教育事務所 学びの共創課
(担当) 木村

